

Sano Seeing

サノ
シーイング

IZUMISANO GUIDE PAMPHLET



3つの日本遺産

日根荘×葛城修験×北前船
〈泉佐野〉ストーリー

旅引付と二枚の絵図が
伝えるまち

～ 中世日根荘の風景 ～

「葛城修験」

～ 里人とともに守り伝える修験道はじまりの地

荒波を越えた
男たちの夢が紡いだ異空間

～ 北前船寄港地・船主集落 ～

泉佐野市



【QRコードを読み込んで日本遺産の情報をゲット!】

■「変わらない風景～日本遺産・日根荘」アプリ

日根荘めぐり専用アプリで日根荘をめぐってみませんか。



App Store



Google play

■日本遺産ポータルサイト

日本遺産 (Japan Heritage) に関する情報を掲載したポータルサイトです。



■YouTube日根荘チャンネル

ドラクドドラゴン塚地武雅さんと人気声優の河西健吾さんと五十嵐裕美さんが、中世日根荘の足跡を辿ります。



■泉佐野市 日本遺産公式HP・SNS



Instagram



facebook



日根荘HP



発行：日本遺産日根荘推進協議会(事務局：泉佐野市教育委員会 文化財保護課) TEL.072-447-6766



3つの日本遺産

日根荘×葛城修験×北前船

〈泉佐野〉ストーリー

文化庁により認定された泉佐野市が誇る3つの「日本遺産」
「日本遺産」とは、文化庁により認定された地域の歴史的な魅力や特色を通じて、日本の文化・伝統を語るストーリーのこと。地域に点在する有形・無形のさまざまな文化財群を、ストーリーによりパッケージ化。遺産や地域文化の保護のみならず、それらを整備・活用して地域の活性化を図ることを目的としています。泉佐野市が誇る3つの日本遺産を通じて、その魅力を国内外に発信。それぞれに合わせた切り口で紹介しします。



日根荘

旅引付と二枚の絵図が伝えるまち
— 中世日根荘の風景 —

令和の時代まで受け継がれる
季節を映す素晴らしい農村風景

今から800年前、泉佐野市は上級貴族が治める領地「日根荘」でした。治めていたのは、摂政や関白になった五摂家（近衛家・九条家・鷹司家・二条家・一条家）の一つ、九条家。領地であった日根荘は、現在の市域とほぼ同じ範囲に及んでいたといわれています。そのころの日根荘を開発するために2枚の荘園絵図が描かれました。16世紀初めに記された九条政基の日記「政基公旅引付」には、政基が見聞した大木地区を舞台とした人々の暮らしが生き生きと描かれています。時代にあわせて変化しながらそれらは今も息づき、訪れる人を魅了します。そんな現地に生きる人々の営みが絶えることなく進化し、令和の時代まで受け継がれてきた懐かしさを感じる農村風景は、どのようにつくられてきたのでしょうか。



葛城修験

「葛城修験」— 里人とともに守り伝える修験道はじまりの地

総延長112kmにおよぶ葛城の峰々
役行者が最初に修行を積んだ聖地

大阪、和歌山、奈良にまたがって連なる葛城の峰々は、古くから多くの神々が住まう山として崇められてきました。総延長112km、修験道の開祖といわれる役行者が初めて修行を積んだ地。聖地「葛城修験」は、世界遺産の吉野・大峯と並ぶ「修験の二大聖地」と称されています。この地には、役行者が法華経を1品ずつ埋納した28の経塚が残っています。経塚を中心に役行者とゆかりのある寺社や滝、巨石などの行場を巡拝する修験道を「葛城修験」といい、関連する文化財もこの地に点在。今も修験者たちは経塚や寺社、滝や巨石を修行の場として巡ります。いつの時代も修行には、この地に暮らす人々との深いつながりがあり、一般の人たちにとってもその歴史や魅力に触れることができる大きな存在なのです。



北前船

荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間
— 北前船寄港地・船主集落 —

大阪と北海道を結んだ経済動脈
動く総合商社が運んだ商品と文化

江戸時代から明治にかけて、北海道・東北・北陸と西日本を結んだ西回りの航路は、経済の大動脈であり、この航路を利用した商船は「北前船」と呼ばれました。米や瀬戸内海で作られた塩、刃物など、寄港地で安い品物を買って、高く売れる場所で売るという「商売」をしながら、大阪から北海道を往復。積み方式により利益を上げたことから「動く総合商社」と形容されています。そんな中、北前船の寄港地であり船主集落である佐野浦（佐野町場）は、大阪・瀬戸内から日本海側を東北・北海道方面まで交易。豪商食野・唐金家の船主集落として、和泉国随一の港として栄えました。町には港に通じる小道が随所に走り、通りには広大な商家や豪壮な船主屋敷が点在。その面影が今でも地域に色濃く残されています。



泉佐野市唯一の国宝建築物
慈眼院多宝塔

天武2年(673年)に開創されたと伝わる天武天皇の勅願寺。多宝塔は文永8年(1271年)に建立された泉佐野市唯一の国宝です。日本の多宝塔三名塔に数えられ、塔内には大日如来坐像(府指定有形文化財)や持国天、多聞天を安置。明治修理の際に金堂隣から現在の場所に移されました。

多宝塔内に安置される本尊。像高約70cm、寄木造の漆箔仕上げ。彫眼の大日如来です。頭体の奥行が浅く、両肩をはぎ付けているところは、平安時代末期の制作技術を表しています。浅い彫りや少ない衣文線、丸い顔など、藤原彫刻の優美な姿が、平成2年(1990年)の修理で再現されました。



慈眼院【地図】E-8
 [DATA]
 住所／大阪府泉佐野市日根野626
 電話／072-467-0092

貴族の美意識にかなった彫刻様式
慈眼院大日如来坐像



世界に誇るノスタルジックな絶景

令和元年(2019年)に認定された「旅引付と二枚の絵図が伝えるまち―中世日根荘の風景―」は、泉佐野市の単一でストーリーが完結する日本遺産。一部の地域を除いたほぼ全域がエリアであり、地域型としては大阪府内で初の認定となります。そもそも「荘園」とは、奈良時代から戦国時代まで続いた土地所有の形式のこと。上級貴族である九条家が、地域のほぼ全域を統治し「日根荘」と呼ばれていました。

「観」は、和泉山脈の豊かな自然に恵まれ、山間盆地の地形を活かした農地や集落が営まれていました。こは日根荘の入山田村があつた場所。現在も日根荘遺跡(国指定史跡)に指定された社寺堂のほか、水路やため池などを根幹とするものが数多く残っています。古くから受け継がれてきた土地利用の在り方は、人々の暮らしなどの変化にあわせつつ今なお美しい農村の景観を保持。夏は田んぼが鮮やかな緑に輝き、秋は黄金色の稲穂が風に揺られてゆらゆら。四季を通じて見事な絶景を楽しませてくれます。

日根荘×絶景

多くの例祭が行われた日根荘の中核

日根神社
本殿／まくらまつり

和泉五社の一つで、全国の神社一覧「延喜式神名帳」にも記載されている日根荘の中核をなす神社。創建年代は不明ですが、古代この地にいた日根造の祖先を祀る神社であつたと考えられます。中世では「大井関社」と呼ばれ、二枚の荘園絵図にもその名で登場しています。また毎年5月4日・5日に催される春季祭礼「日根神社まくらまつり」も、本殿と並ぶ日本遺産の構成文化財。泉佐野市の無形民俗文化財に指定されており、5mほどの竹の竿に色とりどりの飾り枕を付けた枕幟を背負い、ゆっくりと渡御する様子が春の風物詩となっています。

日根神社【地図】E-8
 [DATA]
 住所／大阪府泉佐野市日根野631
 電話／072-467-1162



政基公旅引付



政基公旅引付(原本:宮内庁書陵部所蔵・歴史館いずみさの発行図録より転載)
 当時を追体験できる貴族の日記
 武士によつて荘園経営が危うくなり始めた戦国時代、領主である九条政基は大木地区(当時の入山田村)の長福寺に文亀元年(1501年)から4年間滞在。その様子や出来事を日記につづていきます。火走神社の雨乞いの儀式や日根神社の例祭、軍勢の襲来の様子など、残された日記から荘園に生きた人々の軌跡が見えてきます。

二枚の荘園絵図



和泉国日根荘日根野村・井原村荒野開発絵図(原本:宮内庁書陵部所蔵・歴史館いずみさの発行図録より転載)



和泉国日根荘日根野村荒野開発絵図(原本:宮内庁書陵部所蔵・歴史館いずみさの発行図録より転載)

日根荘開発時の様子を描いた絵図
 日根荘が成立したのは文暦元年(1234年)。経営の一番の難題は、広大な未開地の開発でした。そこで九条家は延慶2年(1309年)、日根荘の土地調査に着手します。その際に作成された二枚の絵図には、極めて克明に村の水路やため池、寺社などが描かれています。驚くのは現存するものとの一致。受け継がれる農村の景観です。

エモーショナルに楽しむ水路

日根荘の魅力を発信する構成文化財「日根荘遺跡」は現在、寺社やため池、水路など16カ所が国指定史跡になっています。その中でも注目は、令和4年(2022年)に世界かんがい施設遺産に登録された「井川」。樫井川から取水する全長約2.75km、高度差約5mの水路で、日根荘の中段段丘面の開発に重要な役割を果たしたと考えられます。

もちろん今も日根野地区の主要な水路で、土丸取水口から流れ出て、日根神社と慈眼院の境内の中を通り、十二谷池まで、広範囲にわたる農地をつるおしています。その眺めをエモーショナルに楽しむなら「つろぎ」へ。十二谷池のほとりにそと佇むカフェで、壁面の大きな窓から景色を望み、キラキラと輝く水辺の絶景が広がります。



小型で類例の見られない仏具

七宝瀧寺銅鉢

鉢の側面に小さく「東大寺 法花三昧院阿賀器鉢 弘安二年己卯三月」と銘があり、治安元年(1021年)に建てられた「三昧堂」の法華会のために製作された仏具であったと思われます。高さ17.7cmの銅製で、小型の銅鉢としては、ほとんど類例の見られないものです。



日根荘領主の居所跡を活用 長福寺跡

[DATA]
大阪府泉佐野市大木1223
[地図]大木地区拡大図

九条政基の居所となった寺院であり、日根荘の支配を行った政所。発掘調査で大量の瓦や建物跡、園池、井戸など寺院跡が確認され、平成17年(2005年)に日根荘遺跡に追加指定されました。現在、史跡の維持管理と周辺景観との調和を目指した野外展示として、稲作と小学校田として稲作体験を実践中です。



霊験あらたかな修行の聖地

犬鳴山七宝瀧寺

大木地区の奥深い和泉山脈の不動谷、犬鳴川溪谷中に位置。葛城修験の中心的行場で、葛城二十八宿の第八宿にあたります。九条政基の日記「政基公旅引付」の文亀元年(1501年)7月20日条によれば、七宝瀧寺の寺僧が入山田村の総社滝宮(火走神社)において、雨乞い神事を行った記述が見られます。

葛城修験信仰を伝える文化財

七宝瀧寺絹本着色 尊勝曼荼羅図

日根荘に由来し、南北朝期の葛城修験信仰の世界を伝える構成文化財。曼荼羅とは「悟りの境地をひらく」という意味があり、仏教の宇宙観や教理を図式化したもの。全体的に金箔などを貼り付ける切金や、裏箔技法を使った朱と金色のコントラストが、深遠な雰囲気醸し出しています。



日本で2点のみの貴重な絵画

七宝瀧寺絹本着色 不動明王二童子 四十八使者図

中央に不動明王と眷属の二童子を配し、その左右に四十八使者を描いた図柄。四十八使者を描く不動明王の絵画は、日本でも2点のみと貴重なもの。平成5年(1993年)に市指定有形文化財となりましたが、その重要性から平成24年(2012年)に府の有形文化財に指定されました。



季節の移ろいとノスタルジー

十二谷池の自然いっぱいの中で、季節の移ろいと美味しい料理&スイーツを楽しむひととき。店内は和風建築の落ち着いた空間。陶芸工房を併設し、一つ一つ違う器もおもてなし。季節ごとに変わる旬菜を織り交ぜたランチから、カフェタイムは旬のフルーツを使った映えるパフェやケーキが話題。



つろぎ 【地図】E-6

[DATA]
住所/大阪府泉南郡熊取町大久保南4-1351-1
電話/072-451-3733
時間/ランチ11:00~14:00、カフェ14:00~17:30(OS17:00)
ディナー18:00~22:00(OS20:00/完全予約制)
定休日/火曜日(不定休あり)



祝!世界かんがい施設遺産登録
令和4年(2022年)10月6日にオーストラリア・アデレードで開催された国際かんがい排水委員会(ICID)第73回国際執行理事会において、井川用水が「世界かんがい施設遺産」に登録されました。約800年前から存在する水路で、現役のものとしてはもっとも古い登録。わずか5mの高低差を活かしたかんがい施設の開発は、当時の高度な土木技術を示しています。水路の成立時期には諸説あり、正和5年(1316年)に描かれた村の絵図からはすでに部分的に水路を活用。国内において、現在も利用されている農業用水路で、国の史跡指定を受けているのは井川用水だけです。



大木まちづくり協議会 伝統的な農村地域の心を込めたおもてなし

「大木まちづくり協議会」は大阪府で初めて国の重要文化的景観に選定された美しい集落を守るために発足。「大木地区の豊かな自然や町並み、歴史を次の世代へ受け継ぐために、さまざまな取り組みや活動を行っています」と、顧問の真瀬貴彦さん。景観を維持する日々の清掃にはじまり、NPO法人Waをつなぐが行う希望の光を放つランプの村プロジェクト、休耕田を活用した10月のコスモス園など、人々が暮らす安心で安全な基盤を作りつつ、町全体がおもてなしの心であふれています。



大木地区の鎮守・火走神社で行われる秋季例祭「大木火走神社秋祭りの担いダンジリ行事」も、構成文化財のひとつで市指定の無形民俗文化財。だんじりを担い、ぶつけ合うことから「喧嘩まつり」とも呼ばれ、力強い祭りの雰囲気を継承する地域色豊かな伝統行事となっています。同協議会でも次代の担い手となる子どもたちの育成に力が入ります。



全国から多くの人々が訪れる自然の行場

いぬなきさんしっぽうりゅうじ

犬鳴山七宝瀧寺

葛城修験のストーリーを語る上で欠かせない「犬鳴山七宝瀧寺」は、日根荘とも重複する重要な文化遺産。斉明7年(661年)、役行者が開基した葛城修験の中心的行場で、犬鳴山の山号は大蛇に襲われた獵師を、身をていして守った愛犬に、宇多天皇が賞賛を与えたことに由来しています。山内は二十八宿の第八宿として、主要な行場、滝、岩、堂、祠などを巡行できるように管理。原始の森と呼ばれる自然の行場には、全国各地から多くの人々が訪れています。

[DATA]
住所/大阪府泉佐野市大木8
電話/072-459-7101
参拝/8:00~16:30
【地図】大木地区拡大図



エネルギーに満ちた清浄の世界へ

「修験道」とは、山に籠って厳しい修行を行うことで悟りを開く日本古来の山岳信仰のこと。大阪、和歌山、奈良にまたがる「葛城修験一里人」とも守り伝える修験道は「しまりの地」は、日本遺産であると同時に、人々が祈り救いを求める霊験あらたかな聖地。エリア全体が凜とした空気に包まれ、訪れる人々を清浄の世界へ導きます。

ながら、日常の喧噪を離れ、修験者の修行の道歩き、四季折々の美しい自然に触れながら、自身を見つめ直すことができるという。閑空から車で約30分、メインとなる犬鳴山は修験道の行場であり、大阪府みどりの百選にも選ばれた自然の名所。約1300年前に役行者によって開基された日本最古の修験根本道場犬鳴山七宝瀧寺のほか、麓には温泉街などもあります。春は山桜、新緑、紅葉、冬は小雪と、ふらふら散歩気分て心身を浄化。何度でも訪れたくなるハワースポットです。



葛城修験

×ハワースポット



厳かな空気が満ちる修験の山

いぬなきさんしっぽうりゅうじれいしょがたけ 犬鳴山七宝瀧寺鈴杵ヶ嶽 ごひやくでしじゅきほん 五百弟子受記品

葛城修験の第八番経塚。犬鳴山七宝瀧寺の南に位置する燈明ヶ岳の山頂にあり、石壇の上に石祠と板碑が安置。中には、二十八品の中でも最古級の「長祿三年(1459年)十月十五日」と刻まれた板碑が見られます。

[DATA]
住所/大阪府泉佐野市大木
【地図】大木地区拡大図



火の神を祀る入山田村の総社

ひばしりじんじゃ 火走神社

入山田村の総社であり、戦国時代には雨乞いや能の舞台でした。日根荘の日本遺産と重複する古社。祭神に火の神を祀り、神職が火の上を走り渡る神事があったことが社名の由来になったとも。拝殿中央に本殿があり、右側にある摂社幸神社は国指定重要文化財になっています。

[DATA]
住所/大阪府泉佐野市大木1534
電話/072-459-7511
※自由参拝 【地図】大木地区拡大図



元和年間に帰農した豪農の屋敷

おくけじゅうたく 奥家住宅

奥家は江戸時代以降に樫井村の庄屋を務めた豪農。主屋は享保12年(1727年)、表門や東側の土蔵が19世紀に建てられたと推定。泉南地方で古くから受け継がれる大型民家で、国の重要文化財に指定されています。かつて庭には聖護院が修行に来たときの休息所が建てられていました。

[DATA]
住所/大阪府泉佐野市南中樫井193
※内部は非公開 【地図】B-6

福德増進!七つの瀧と行者の瀧

女性も多く訪れる「一日修行体験」

山中にある七瀑を金銀などの七宝にちなみ、淳和天皇により命名された七宝瀧寺。さらに弘法大師空海は、この七瀑に七福神を祭祀。そのためこの山を参詣すれば、七福神・不動明王の霊気を受け、福德増進するといわれています。また犬鳴山での修行は女性も参加できるため「女人大峯」とも呼ばれており、多くの方が修行。「一日修行体験」では、宗派のみならず、男女も国籍も問わず、すべての人を受け入れ、心を新たにす精神鍛錬の入り口まで導いてくれます。



修験道の修行に同列してみたいという一般の人のために用意。犬鳴山修験者先達の指導のもと、行場や拝所を回峰し、そのあと行者の瀧で滝修行を行います。

[DATA]
開催日/原則として第3日曜日(12月~2月を除く)
参加費/8000円
申し込み/10日前までの事前予約制
問い合わせ/072-459-7101
(犬鳴山七宝瀧寺)



日本遺産と温泉

犬鳴山温泉でほっこり湯めぐりの旅 



可愛い色浴衣を選んで女子会・女子旅

葛城修験と併せて、犬鳴山のもう一つの魅力は温泉。緑深い自然に覆われた山麓に「犬鳴山温泉」がこんこんと湧き出ています。大阪の奥座敷として親しまれているアクセスの良さ、日常から離れた秘境ムードが人気の理由。もちろん泉質も素晴らしく、硫黄の香りがかすかに漂う炭酸水素塩泉。「美人の湯」や「美肌の湯」とも呼ばれており、アルカリ性のお湯が古くなった角質や皮脂汚れをきれいに落としてくれます。複数の温泉宿が軒を連ね、こじんまりとしながらも風情ある温泉郷。各宿とも料理や露天風呂、日帰り企画とさまざまな工夫を凝らし、県内外のお客様を出迎えています。中でも今、女性を中心に注目を集めているのが「不動口館」の女子旅・女子会プラン。女性の心の息抜きを応援する企画で、選べる色浴衣のサイズやデザートプレートなど、嬉しい特典が盛りだくさん。可愛い浴衣を着て、緑の参道をフット散歩したあとは、温泉をたっぷり満喫。心と体のリラックスになること間違いなしですよ。

温泉美人を
目指す
つるつるの
名湯 



豊かな自然に抱かれて過ごす贅沢な時間

犬鳴川のそば、参道沿いにひっそりと佇む「み奈美亭」。豊かな自然に抱かれた静かなロケーションを大切に、日常を忘れるゆったりとした時間が流れています。自慢の天然温泉には単純硫黄冷鉱泉がたっぷり含まれ、男女とも露天風呂からボディシャワー、うたせ湯を設置。犬鳴ポーグや河内鴨、地場野菜など、新鮮な素材を丹念に仕立てた懐石料理でおもてなしです。

み奈美亭

[DATA]
住所／大阪府泉佐野市大木2236
電話／072-459-7336
時間／11:00～21:00
(受付は20:00まで)
料金／日帰り大人1,000円、
子ども(1歳～12歳)600円、
1歳未満は無料



[地図]大木地区拡大図

秘湯!?源泉掛け流しの湯

秘湯感がすごいと、温泉マニアが訪れる「山乃湯」。場所は参道から少し離れた府道62号沿い、溪谷に下りる細道の先に入り口があります。源泉掛け流しで、湯はわずかに白濁。湯船に入るとつるつるのお肌になる柔らかいお湯です。



山乃湯

[DATA]
住所／大阪府泉佐野市大木2234
電話／072-459-7515
時間／10:00～18:00
料金／日帰り大人775円
小学生以下(0歳含む)300円



[地図]大木地区拡大図

露天風呂付き客室で家族の時間

「不動口館」のモットーは「笑顔が集うおもてなし」。溪流のせせらぎをBGMにする露天風呂から、ジビエと地産食材を盛り込んだ料理、タイプ別の部屋と、滞在時間を豊かにするサービスを提供してくれます。最近の注目は、密を避ける露天風呂付きの客室。ご夫婦、カップル、ご家族と、ゆっくり水入らずの時間を過ごすことができます。

不動口館

[DATA]
住所／大阪府泉佐野市大木7
電話／072-459-7326
時間／11:00～21:00(受付は20:00まで)
料金／日帰り大人900円、子ども450円、2歳未満は無料

[地図]大木地区拡大図



犬鳴山年間行事

12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	4月	3月	2月	1月	
● 納め不動・難切り不動尊祈願祭	● 南海沿線七福神祈願祭 ● 得度講習会 ● 燈明ヶ岳峯供養	● 友ヶ島入峯修行護摩供	● ボケよけ不動尊祈願護摩供 ● 韋駄天神足腰通痛み除けスボーツ向上祈願 ● 彼岸法要先祖供養法要(動物供養)	● 萬燈会 地藏盆水子供養 ● お滝祭り 滝行大護摩供	● きゅっり加持通夜護摩 ● 土用丑 病封し ● きゅっり加持祈奉修	● 得度講習会	● 厄除十二面観世音菩薩供養法要 ● 年一回の新緑山伏祭り大祭 ● 柴燈大護摩供大祈禱会 ● 火渡り修行厳修	● 葛城修行根本行所 ● 元山上ヶ岳峯供養行所巡	● 節分厄除星祭り祈禱護摩供	● 新年祈願初護摩供 ● 初不動祈禱会・撥遣柴燈護摩供	

※歳時の日程については犬鳴山七宝瀧寺のHPをご覧ください



北前船 × グルメ



町場散策とがっちょの唐揚げ

日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間」北前船寄港地・船主集落「には、男たちのロマンと攫千金をかけた物語が秘められています。泉佐野市は室町時代から、遠く対馬へも出かける漁民集団があり、回船業も盛んでした。18世紀中頃、北前船が登場すると佐野の船主たちはいち早く参入し、巨万の富を築きます。その栄華の痕跡を残すのが、船主が蔵を建て並べた佐野町場の「いろは蔵通り」などです。

町の散策と緒に楽しむのは、もちろんグルメ。地元民も絶賛の泉州名物が「がっちょの唐揚げ」です。冷めても美味しく、酒のアテやおやつにピッタリ。しっかりと下味がつき、高温でじっくり揚げているから骨までカリカリ。お店の創意工夫で不思議と油がまわらず、帰省土産にもおすすすめ。サクサクと食べ進めることに、思わず「ビール!!」と叫んでしまうやみつき逸品です。

がっちょの唐揚げ

骨まで食べられる地元健康食

「タケダフーズ」の大人気商品。小さく手間のかかるがっちょの頭を落として丁寧におろし、しっかりと味付け。片栗粉をまぶして高温で揚げれば、カリカリ&サクサクの唐揚げの完成。カルシウムたっぷり、子どもからお年寄りまで愛される地元グルメです。



タケダフーズ

[DATA]
住所/大阪府泉佐野市旭町8-14
電話/072-493-6221
時間/9:00~17:00
定休日/水曜日と日曜日
【地図】D-3



食野家邸宅跡

巨万の富を築いた豪商の面影めしのけていたくあと
北前船で財をなした豪商・食野家の本宅跡。跡地は現在、小学校の敷地となっており、屋敷跡のほか古絵図、井戸枠、松などが残っています。以前は食野家の建物自体が、小学校の校舎として利用されていました。

[DATA]
住所/大阪府泉佐野市野出町1-34
【地図】C-3



春日神社

北前船を今に伝えるふとん太鼓
かすがじんじや
佐野町場の氏神で、北前船主や商人が航海の安全を祈願して奉納した灯籠や狛犬が残ります。創建は宝亀年間(8世紀)と伝承。建物は江戸中期。夏祭りには北前船によってもたらされたふとん太鼓が宮入りします。

[DATA]
住所/大阪府泉佐野市春日町4-12
電話/072-464-0235
【地図】D-3

世界に飛び立つクラフトビール

唐揚げのお供。「KIX BEER」は南大阪最大級の醸造設備を有するクラフトビール醸造所。商品名でもあるKIXは、関西国際空港の空港コードで、世界へ飛び立つ個性豊かなビールを販売。工場直売もあります。



[DATA]
住所/大阪府泉佐野市本町5-29
電話/072-469-5673
時間/9:00~16:00
料金/一般200円、高校生・大学生100円、中学生以下や65歳以上等は無料
【地図】D-3



泉佐野ふるさと町屋館

(旧新川家住宅)

北前船主や商人たちにより、泉州一の賑わいをみせた旧佐野浦の町並み。散策の拠点となる「泉佐野ふるさと町屋館」は、江戸時代中期に2代目新川喜内が醤油業を営むために建てた町屋で、当時の泉南地域の建築様式を今に伝える文化財です。保存・修理されて一般公開中。貴重な史料のほか、優雅な暮らしぶりをのぞくことができます。

佐野グルメ

はみ出していますよ!!



井からこぼれる 匠巻のボリューム

水産会社の直営だから、毎日届く魚介類は新鮮。自慢の海鮮丼から職人が握る寿司、天ぷら、唐揚げまで、鮮度・味・価格とも自信にあふれています。赤字覚悟は豪快にはみ出る海鮮丼。遠方からの観光客も多く、休日は行列です。



こたや 【地図】D-2

[DATA]
住所/大阪府泉佐野市新浜町3
電話/072-458-0800
時間/11:00~16:00(OS15:00)と17:00~22:00(OS21:30)、土曜・日曜・祝日は10:00から営業

肉厚ふわふわ! 青空市場で穴子天

大阪府下でも一二を争う漁獲量を誇る泉州の魚処。水揚げされる漁港の隣は、組合直営の「泉佐野漁協青空市場」。抜群の鮮度と種類を誇ります。市場名物は、2階「お食事処イルカ」の穴子天。器からはみ出る熱々の穴子天は丼でもいただけます。



泉佐野漁協青空市場

[DATA]
住所/大阪府泉佐野市新町2丁目5187-101
電話/072-469-2340
時間/10:00~17:00(16:30~閉店準備のため店舗により購入できない場合もあり)
定休日/水曜日

大満足!!
海鮮盛りだくさん
グルメ三昧

お食事処イルカ

電話/072-463-1818
時間/平日10:00~OS14:30、土日祝はOS15:00
定休日/水曜日、木曜日

お菓子に込める 佐野への郷土愛

泉佐野市に本店を構える銘菓店「むか新」。定番はこがしバターケーキなれど、地域に根差したふるさとへの思いも強く、大木地区のもち米を使った最中「いろは蔵」など、地元ならではの菓子で郷土愛を発信。スタッフ自ら、田植えにも参加する熱量です。

むか新 本店 【地図】D-3

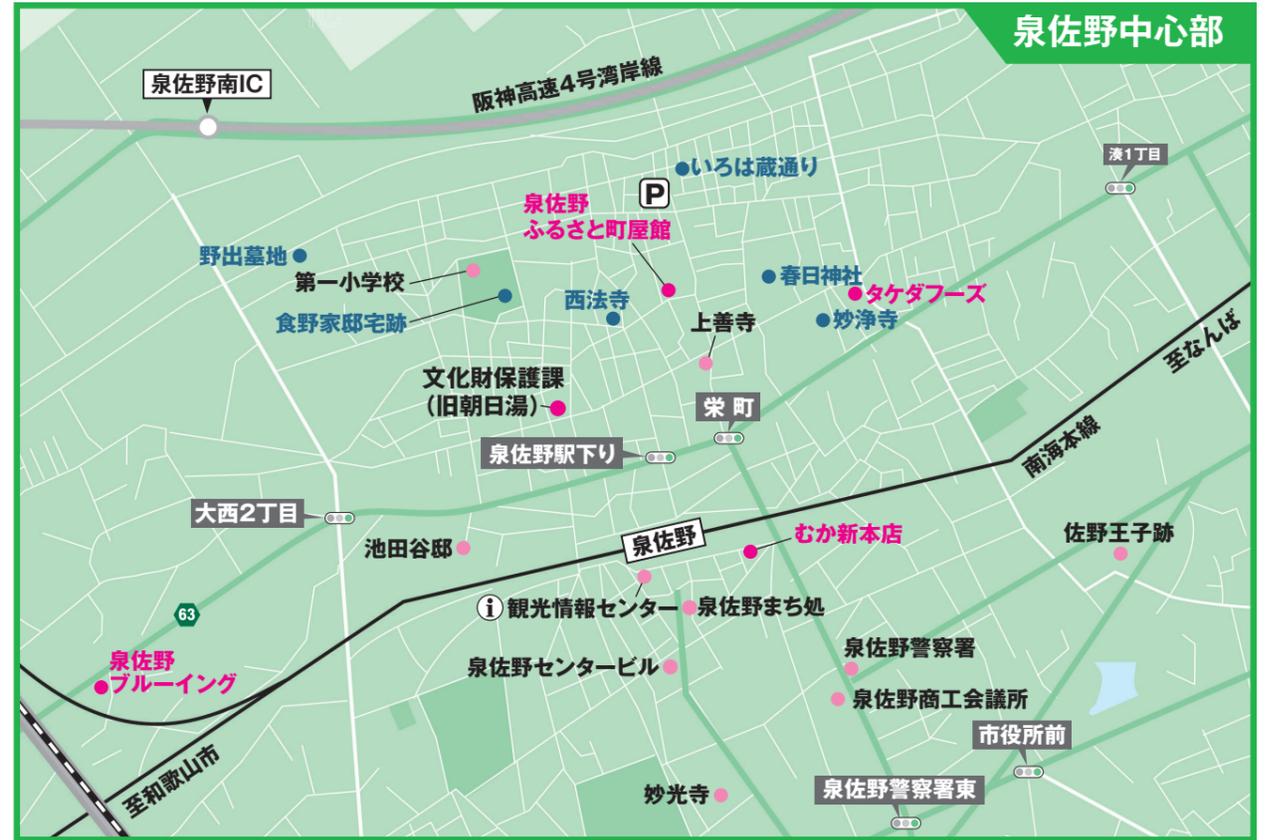
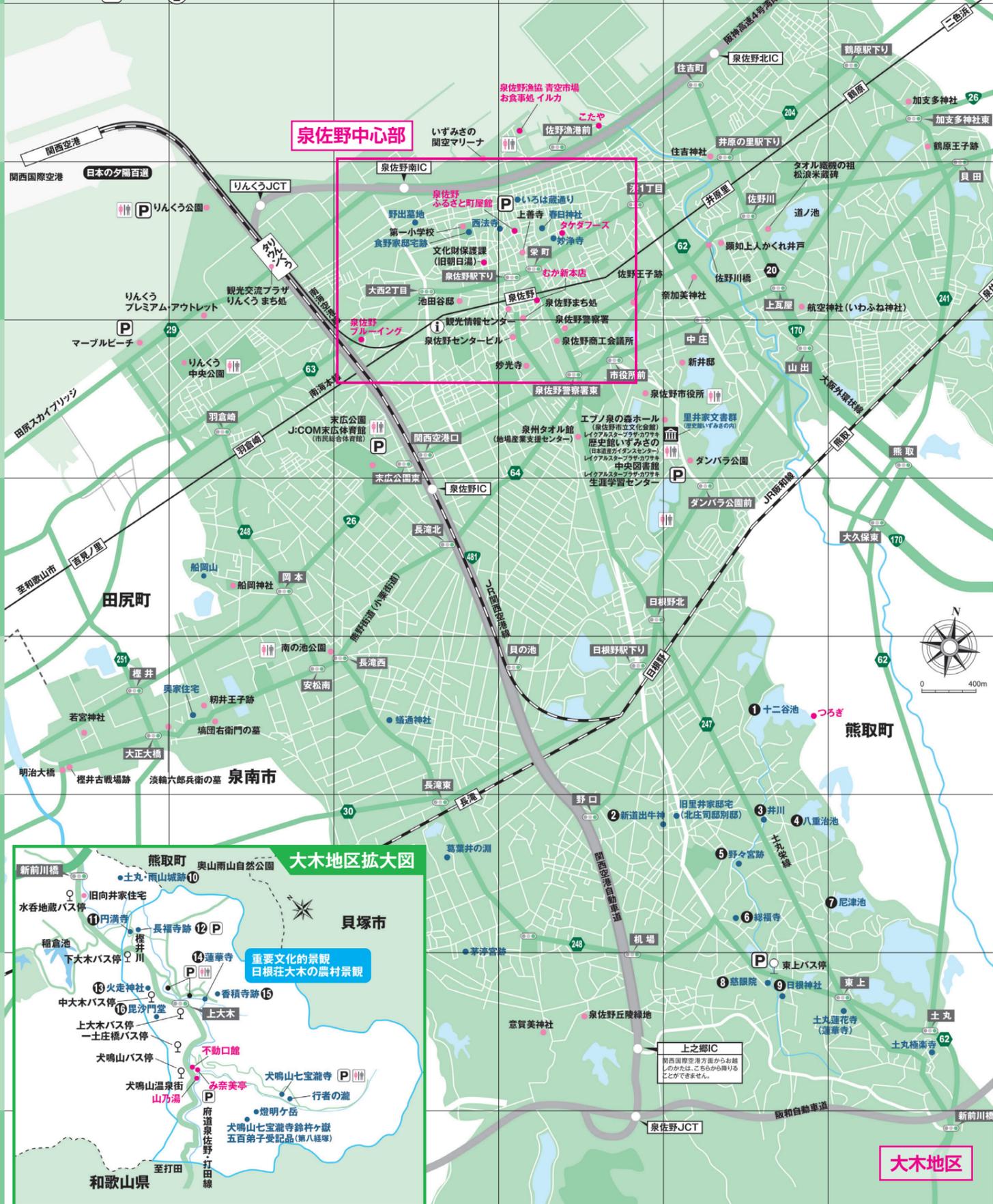
住所/大阪府泉佐野市上町3丁目11-4
電話/072-464-0100
時間/9:00~18:00
定休日/水曜日

泉佐野ブルーイング 【地図】C-4

[DATA]
住所/大阪府泉佐野市大西2丁目2599-4
電話/072-468-6766
時間/ピアシンド:12:00~18:00(水曜日定休)
※来店の場合、事前に電話にて確認
※工場直売のほか、泉佐野やりんくうの「まち処」など特産品販売所でも取り扱い

泉佐野 - 日本遺産マップ

- 凡例
- 博物館
 - トイレ
 - バス停
 - 駐車場
 - 観光情報センター



日本遺産 構成文化財 スポット一覧

日根荘	日根荘遺跡(マップ①~⑩)	日根荘大木の農村景観	犬鳴山(七宝瀧寺)	火走神社
	慈眼院	総福寺	日根神社	犬鳴山七宝瀧寺
	土丸蓮花寺(蓮華寺)	土丸極楽寺	蟻通神社	茅渟宮跡
	船岡山	葛葉井の淵		
葛城修験	犬鳴山七宝瀧寺鈴杵ヶ嶽五百弟子受記品	日根荘大木の農村景観	火走神社	
	奥家住宅	犬鳴山(七宝瀧寺)	行者の滝を含む7つの滝	
北前船	食野家邸宅跡	いろは蔵通り	西法寺	春日神社
	妙浄寺梵鐘	野出墓地	燈明ヶ岳(犬鳴山七宝瀧寺)	里井家文書群
	旧里井家邸宅(北庄司邸別邸)			

- ### 泉佐野市内までのアクセス
- 《車でお越しの方》
- 高速道路利用
 - 阪神高速湾岸線: 泉佐野北出口もしくは泉佐野南出口
 - 阪和自動車道: 泉佐野ジャンクションより市街地方面へもしくは上之郷出口
 - 和歌山方面から
 - 南海和歌山市駅から泉佐野駅まで特急・急行で約27分
 - JR和歌山駅から日根野駅まで快速で約23分
 - 関西国際空港から
 - 関西空港(南海空港線利用)から泉佐野駅まで約8分
 - 関西空港(JR利用)から日根野駅まで約13分
- 《電車でお越しの方》
- 大阪方面から
 - JR大阪駅から日根野駅まで快速で約54分
 - JR天王寺駅から日根野駅まで快速で約37分
 - 南海なんば駅から南海泉佐野駅まで各種急行で約38分